

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり桃花台校		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 32 (うち5家族複数児童)
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士資格や福祉分野の資格を持つ経験の長い指導員が多く専門的な療育支援を提供できる。	個々の発達段階を把握し保護者のニーズに応じて活動内容を考え、子供の集中力が続くような支援プログラムを提供している。また経験豊富な指導員や児発管が活動のアイデアを出し合い、互いに情報交換をしながら支援プログラムを立てて実践している。	社内外の研修を積極的に受けたり、自己研鑽を重ねている。また本やインターネットなどの情報を取り入れ、良い教材や教え方、活動内容があれば指導員間で共有し、実践していく。
2	保護者や子供に寄り添った支援や相談援助を丁寧に行っている。	保護者に送迎を行っていただいているため、お話する機会が多く、直接支援の様子をお伝え出来、学校やご家庭での様子を伺うことが出来ている。お悩みやご相談があれば、その都度対応したり児発管が家族支援の一環として相談できる窓口になっている。	子供の様子で気になることがあれば、こちらからも声をかけ、相談できる場を提供している。また進学や進級のタイミングには、より丁寧に様子を見ていくように心がける。
3	広い療育室と充実した教材が豊富、手作り教材を含めた療育用具で支援している。	支援室が広いため、机上の学習支援だけでなく運動療育も積極的に行うことが出来ている。また気が散りやすい子供は他児の影響を受けることなく独立した部屋での支援が出来る。	一番広い部屋は皆が使えるように話し合い、一部の利用者に偏らないように心がけている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	出来るだけ早期に療育に繋がるパイプづくり。	学校に入ってから学習のつまづきでご利用を検討されることが多いが、出来れば児発の時からご利用される方が成長が早く、子供の自己肯定感も得られやすい。	学習のつまづきだけでなく、様々な発達段階で気になることがあれば、早めにご利用いただけるよう関係機関にもアピールしていく。
2	駐車場が狭い。駅から遠い場所にあるため、保護者の車での送迎が必須になる。	ご利用時間が重なる等駐車場の出入りなどで交通整理が必要になることがある。	校舎の外の様子を送迎時は把握し、必要に応じて交通整理を行っていく。他の利用者や近隣住民に迷惑が掛からない対策を講じていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室きらり桃花台校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

37

回収数 32 (内5 家族複数児童)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	4			身体を動かすスペースが広いので、楽しそう。	机上の活動だけでなく、身体を動かすスペースも十分に取、のびのび活動出来ている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1			適切である。	様々な支援者が関わっていくことで社会性が伸び成長もしていくと思われるため、もう少し人員にゆとりがあるとよい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	5		3	特に困っていない。	2階の支援室を使用する時は、手を繋いだり階段の昇り降りを安全に見守っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	2			身体を使った運動もスペースが広いので楽しく活動出来ている。	朝に全員で掃除や消毒を行っている。また部屋を使用した片付け、使いやすいように整えている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	3			・とてもよく子供を見てくれていると思う。 ・子どもの甘えが出て先生を困らせたりしているが、その都度ちゃんと対応して下さる。	子供の成長段階や特性に合わせ、様々な活動を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	2			子どもに合った支援プログラムを考えていただき、楽しみにしている。	今後も様々な活動を取り入れ、発達段階や子供に合わせて支援していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	2			・こちらの希望することを組み込んでとても上手く支援してくれてありがたい。 ・学校や家庭ではなかなか出来ない苦手な分野をそのままにせず取り組んでくれて、とても助かっている。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1		1	支援計画の説明の時に聞いている。	支援計画を作成する時に、子供の発達段階に応じて具体的な支援内容を設定している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	2			色々と工夫されている支援を楽しみにしている。	今後も様々な活動を取り入れ、発達段階に応じて支援を行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2			いろいろと考えられた活動プログラムで状況に応じて対応も変えていただけている。	季節に応じて制作やクッキング、身体を動かす活動などにも取り組んでいく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	9	6	7	他の施設との交流はないが、きらりの中で同じ時間の子と交流をする機会があり、良い経験になっている。	今後もベア活動や小集団活動を定期的に行っていく。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1			説明がされている。	必要に応じて説明を行っていく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1			説明がされている。	必要に応じて説明を行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	3	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	3			・母子ともに気にしていただけであり、話しやすい環境だと思う ・お母さんに言うよ、みたいな声かけは適切ではないと思う。	概ね保護者へのフィードバックで丁寧に話をし、共通理解が出来ていたと思うが、適切な声かけや促しを職員とも共有していきたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	5			・子どもがどうしたらわかるのかをちゃんと考えてくれてとても助かっている。母の話もちゃんと聞いてくれて有難い。 ・悩みを伝えるとすぐに考えて実践したり助言をいただけ、とても参考になる。	支援のフィードバックだけでなく、必要に応じて子育ての助言や面談を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	3			年齢が上がると勉強面や扱いが難しくなると思うが、とても丁寧に子供達と向き合ってくれる先生ばかりで、子供も楽しめ、フィードバックも愛情を感じる。	子供や保護者に寄り添い共感的に支援を行っていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	13	6	8	・保護者同士の交流や兄弟同士のイベントは、特にこちらも求めている。 ・保護者会に参加したことがないため分からない。	保護者会の開催はいずれ検討したい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	6		2	連絡が基本的に電話対応なので、連絡手段が増えると助かる。	電話での連絡の方が直接利用者の様子が何え、次の日程やご連絡が行き届きやすいが、今後検討していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2				口頭でのご連絡やLINE、メモを渡して連絡を徹底している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	7	1	5	LINEでお知らせがあるが、月別での行事予定のお知らせがあるとよい。	定期的な行事はないが、事前に活動内容をお伝えしている。行事予定を検討していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	3		1	されていると思っている。	第三者の目で事業所を確認し、個人情報の取り扱いを見直していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	6		5	訓練の報告があると良いと思う。	様々な方法で訓練の様子を周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	5		3	子供達も災害時の避難について学べると更に良いと思う。	避難訓練後に掲示物などでお知らせしている。また曜日や時間を変えて様々な訓練を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	4		3	駐車場の利用について、安全にスムーズに送迎できるよう、対策してほしい。	急な飛び出しなどは、職員が玄関やドアの前に立ち、安全に見守っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	3		5	発生したことがないので分からない。	今のところ、事故につながる案件はないが、不測の事態に対応できるように準備しておく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	4			・安心しすぎているくらい、学校の先生には見せない素の自分を出していると思う。 ・我儘で活動に向かわない時も、根気よく寄り添っていただきありがたい。	今後も安心して通所していただけるように事業所の雰囲気より良くしていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	5			とても楽しみにしている。きらはずっと続けたいと言っている。 小さな成長も一緒に喜んでいただけ、親としても嬉しく心強い。	今後も継続して楽しくご利用いただけるよう努めていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2			大満足。定期的に他の学校の子と一緒にクッキングをしたり遊べるのは嬉しい。今後も続けてほしい。	子供や保護者様の満足度や温かい言葉を励みに一同頑張っていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室さくらり桃花台校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションで区切られた部屋は、他児の声が気になる場合があるため、互いが刺激にならないように配慮したり、同じ時間に動きの多い活動を行っている。	広い部屋を使う場合、同じ利用者ばかりにならないようにローテーションを行う。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		適切である。指導員の休みが互いに取れるように支援の引継ぎを丁寧に言い、安心して活動出来るようにしている。	今後指導員を増やし、余裕を持って支援にあたりたい。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口の段差や2階の支援室への移動は、指導員が手を繋いで誘導したり、安全に動けるように見守っている。	常に安全面にも細心の配慮を払い、子供の突然の飛び出し等にも対応できるようにする。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		玩具などが子供の目に触れないように布などをかけて環境設定に配慮している。	普段の掃除だけでなく、支援の前後にも空気の入れ替えや消毒を行っていく。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援では指示が届きやすい環境で支援を行っている。	個に合わせて様々な活動を行い個別支援を行っていく。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務の見直しを定期的に行い、偏りがないように配慮している。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		様々な保護者のご意見は全体的な事としてとらえ、すぐに業務改善に取り組んでいる。	保護者のご意見を踏まえた上で取り組めることから改善出来るようにする。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に話しやすい雰囲気を作り、会議だけでなく、常に意見を出しやすいように気を配っている。	指導員の意見等を日常的に把握し、業務改善に繋げていく。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	行っていない。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		指導員が研修を受けやすいよう業務の調整をしている。	社内外の研修を積極的に受けられるように調整していく。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子供に合わせた支援プログラムを作成している。	子供の発達段階に合わせた支援プログラムを作成していく。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者のニーズや子供の課題を把握した上で支援計画を作成している。	今後もアセスメントを丁寧に取り、成長に合わせた支援計画を作成していく。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子供の発達段階や個々の成長に合わせて計画を見直し、現状に応じたものを作成している。	担当者会議を設け、支援内容や今後の見通しについて話し合い、支援計画を作成していく。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有したうえで計画に沿った支援を心かけている。	計画に沿った適切な支援が行われているかどうかを確認し、指導員に助言を行っていく。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントを使用している。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		現在の様子を踏まえて、子供や家族支援だけでなく成長を見越した移行や地域支援を視野に入れながら支援を行っている。	子供の支援に必要な具体的な支援内容が設定されているか確認していく。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援ではそれぞれの指導員が行うことが多く、小集団やペア活動では、チームで定期的に話し合っている。	子供に合わせた活動に偏りが生じないようにプログラムの立案を行っていく。				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導員が調べたり教材を作り、季節に応じた活動や制作、クッキングなどのアイデアを出し、変化に富んだ内容で支援を行っている。	今後も様々な活動を行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援だけでなく、ペア活動、小集団活動ではねらいと目的を持って支援を行っている。	個別の課題と小集団での課題やねらいを明確にして支援を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要に応じて話し合いの場を設けている。	打ち合わせの際、情報共有をしながらチームで連携し支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、もしくは翌日に振り返りを行い、今後に活かせるように話し合っている。	振り返りを行い、反省点や課題を指導員間で共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録入力に漏れがないように各自気をつけて記録を記載し、支援の検証、改善につなげている。	記録を早めにかくように互いに声をかけ、記録のチェックを行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な見直しとモニタリングを行っている。	今後も必要に応じて見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		子供の発達を理解し、基本活動を組み合わせて行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子供が答えを選択して相手に伝えられるように気持ちを引き出したり、考えをまとめられるように関わっている。	指導員の考えの押し付けにならないように配慮していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児発管が参加し、資料等の情報を共有している。	参加した際、知り得た情報を指導員にも共有していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		社会福祉協議会のこども連絡会などで他機関と連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎がないため、全体としては行っていないが、中学校の帰宅時間や定期テストの日程を把握するため、一部の利用者から予定表を見せていただいている。	部活や学校行事、式典など、必要な情報を保護者様と共有していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報共有を行っている。	今後も必要に応じて連携を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当する利用者がいないが、必要に応じて連携を行っていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修などの機会に意見交流や助言をいただき、日々の支援に活かしている。	今後も研修などの機会に積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		主に児発管が参加している。	児発管が参加した時の内容や資料を回覧し、情報共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		個別支援のフィードバック時に保護者様から子供の状況を伺ったり、事業所での様子を伝え共有している。	支援のフィードバックの時間に限りがあるため、必要に応じ別日に改めて相談日を設けている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援のフィードバック時に必要に応じて行っているが、全体に向けての取り組みは行っていない。	市の研修などは、掲示物を通じてお知らせしている。事業所でも今後行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時など必要な時に行っている。	変更があった場合にも丁寧な説明を心がけていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子供が必要を感じて通いたいという意思を持ち、能動的に活動に取り組みめるように関わり、本人やご家族の意向も確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時など必要な時に行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの子育ての悩みを伺い、面談や助言する機会を設けている。	保護者からだけでなく、気になる時はこちらからお声掛けをし、積極的に家族支援の機会を設けていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	兄弟児のご利用者がある場合は、時々一緒に活動し、兄弟の関係も把握している。	父母の会を開催することも今後考えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は、その日のうちに迅速、適切に対応している。	苦情があった場合は、指導員間に周知し、改善できるように対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEやブログを定期的に更新し、活動内容を発信している。	広くブログの周知をしたり、必要に応じてLINEでも活動内容や連絡事項を発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		掲示物や名前が分かる書類、ご見学時の配慮を行っている。	掲示物や活動内容のブログアップなど、個人を特定されないように配慮していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		実物で見本を見せたり簡潔な指示で支援し、保護者には口頭だけでなくメモや書面などで分かりやすく伝えている。	実物で見本を見せたり分かりやすい指示で支援を行い、保護者には情報伝達を徹底する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行っていない。	個人情報の問題もあるため行うことが難しいと感じる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全体に向けての訓練は難しいため、一部の子供のご利用時間に訓練を行い、掲示物で周知している。	出来るだけ多くの子供と訓練が行えるとよい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		普段の避難訓練に加えて非常災害の発生をイメージし職員の動きを確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や新学期、お子さんの状況が変わった時等随時確認している。	保護者からの聞き取りで部屋の温度調節を行った、保護者が同席のもと見守っていただくようにする。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		クッキングなどの活動では、事前に保護者にアレルギーなどを確認し、安全に取り組めるよう配慮している。	保護者からの聞き取りで対応している。飲食を伴う活動は、その都度確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、安心して活動が行われるように必要な研修を行っている。	安全管理に必要な研修の機会を設け、具体的な訓練を行い、職員が不測の事態にも対応できるようにしておく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		安全に活動出来るように設定を工夫し見守っているが、万が一ヒヤリハットが発生した時は、事業所間で周知し再発防止につとめている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		行動だけでなく、言葉かけや利用者との接し方について適切な関わり方を話し合っている。	支援中や校舎内における言葉遣いや態度、関わり方について起きた事例を踏まえて自分の行動を振り返る。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時や子どもの状況に応じて必要になった時、保護者に十分説明し、ご了承いただいている。	



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」 桃花台校第二単位			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～	2025年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育 お子さま一人ひとりの発達・行動面に合わせた個別支援計画を作成してマンツーマンによる個別支援に取り組んでいる。（成長度によって集団療育の実施もあり）	マンツーマンの個別指導で、子どもたちの成長・発達した部分を見つけることができ、小さな変化に対して「褒める」ことができ、それらが「褒められる経験」「成功体験」となり「自己肯定感」を高めるようにしている。	常にスタッフ間で情報を共有化することにより、柔軟な支援プログラムを構成し提供していく。支援後保護者にフィードバックすることで自宅での生活習慣の充実を図るようご家庭での支援技術のアドバイスに取り組んでいく。
2	ハイブリット教室 ブラジル人スタッフを配置して、言葉の壁をなくすことで保護者やお子さまに安心して通所していただいている。	支援計画書・専門的支援等をブラジル人スタッフが分かりやすく保護者に説明、普段のフィードバックも実施している。また、日本人スタッフのフィードバックの際は、写真など使用し説明を行っている。	ホームページやSNSを通して取り組み内容を発信することで事業所周知に取り組んでいく。
3	広い教室 他事業所に比べると支援室が広く、子どもが伸び伸びと安全・安心に活動することができる。	イベントの際、可動式の壁を取り払うなどその都度支援に合わせた間取りにする工夫ができています。	子どもに合わせた教材を用いて支援を考え、より安全・安心な支援場所を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ブラジル人専門校舎を認識されていることが多く、日本人利用者の問い合わせが少ない。	周知活動不足。	社会福祉協議会や相談支援事業所に訪問し、周知活動を行うと共にホームページなどのSNSを活用していく。
2	地域や他事業所との交流が少ない。	一部の学校や事業所との交流のみで関りが少ない。	児童発達支援センターが主催する研修へ参加した際、交流を増やしていく。
3	父母の会の活動支援や保護者会などの開催がされておらず、保護者同士の交流する機会が設けられていない。	保護者同士の交流する機会が設けられていないため、積極的なアプローチ不足となっている。	イベントの際、利用者の兄弟を招待するなどの対応を検討する。また、イベント開催時に別室で保護者同士の交流の場を設けるなども検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」 桃花台校第二単位

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 19

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		支援内容やこどもの特性に合わせ支援室 を変えるなどの工夫をしていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1	どの先生も優しく丁寧であり、人数も十分である。	フィードバックや家族支援を行う際、支援 をご見学していただくなど確認の場を 設けていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	1	2	運動及び個別スペース共に工夫されている。	こどもの安全を第一に考え、手を繋ぎ声 掛けをし、事故防止を心がけていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	1		フィードバックをする際、支援をご見学 していただき参考意見を取り込み改善を していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	こどものペースに合わせて対応されてい る。	フィードバックや家族支援を行う際、疑問 点など伺い改善をしていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2	0	0	時間をかけこどもの能力に合わせて対応 されあっている。	フィードバックや家族支援を行う際、疑問 点など伺い改善をしていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0	親のニーズに対してバランスよく配慮さ れとても良い。	ニーズや課題など常に共有を行い取り組 んでいく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		ガイドラインに沿った計画を行うと共に 相違があれば修正を行っていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	0	1		フィードバックや家族支援を行う際、支 援をご見学していただくなど確認の場を 設けていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1	毎回違う内容で楽しめている。	フィードバックや家族支援を行う際、支 援をご見学していただくなど確認の場を 設けていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	9	3		検討し取り組んでいく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	利用前に説明があった。	継続し取り組んでいく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		継続し取り組んでいく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	3	3		検討し取り組んでいく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	1		フィードバックや家族支援を行う際、支 援をご見学していただくなど確認の場を 設けていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	0	2	毎回アドバイスをいただける。	フィードバックを行う際、家族支援の機 会を多く設けていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	1		全ての利用者様に満足していただけるよ う対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	4	7		イベントの際、利用者の兄弟を招待する など対応していく。 また、別室で保護者同士の交流の場を設 けるなどの対応も検討していく。



	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0		継続し取り組んでいく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1	3		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	0	6		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3	0	8		全ての利用者様に参加していただけるよう機会を設けていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	2		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	3		全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	安心して通えている。	継続し取り組んでいく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	1	毎回楽しみにしている。	全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	1	何を体験し、学んだのか話してくれ支援に対し満足している。	全ての利用者様に満足していただけるよう対応していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」桃花台校第二単位		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別で部屋ごとに対応されており、スペースが確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別で対応できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	二階への移動が階段のみであるが、現利用者にバリアフリー該当者がいないため対応していない。	今後必要に応じて対応する。 空があれば一階の支援室対応も可能。 避難はしごが困難な際の対応が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援毎に消毒など徹底されている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて対応できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に会議など行い取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		結果を確認共有し、できる範囲で改善を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に会議や相談窓口など設け対応している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		事業所評価を元に改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に各種研修する機会を設けている。	社外研修にも参加しスキルアップをすることも必要と感じる。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切に行い対応している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を行い作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成時に回覧し共有されている。 また、支援する際は、計画に沿って支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		都度、情報共有を行い取り組んでいる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、五領域を踏まえた支援内容が計画されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に会議を行い取り組んでいる。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援内容を共有し、都度工夫し対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に合わせ、個別、小集団活動を行い取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		都度、情報共有を行い取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		都度、情報共有を行い取り組んでいる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援後に記録し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切にモニタリングを行い見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童の特性に合わせ工夫しながら取り組むことができている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもの主体性を重視し、選択肢を設け支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて共有している。	状況によって頻度を多くした方が良いと感じる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		可能な範囲で対応している。	頻度を増やすと良いと感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		可能な範囲で対応している。 また、HPなどで情報収集を行っている。	頻度を増やすと良いと感じる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		可能な範囲で対応している。	頻度を増やすと良いと感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援員と情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の連絡会及び担当者会議に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	特に対応していない。	現在活動する機会を設けていないが、今後機会があれば対応する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	可能な範囲で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にフィードバックを行い情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		可能な範囲で面談などで助言を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時及び支援計画の立て直しの際、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		必要に応じてアセスメントを行い、意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画書を提示し同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		都度、要望があれば対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	特に行っていない。	今後、計画等検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設け対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		必要に応じて行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		定期的に研修を行い周知している。 また、開示が必要な際は、都度確認を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		都度、配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	特に行なっていない。	今後、計画等検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に行うと共に常に確認できる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に研修を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認し、対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現利用者に該当者がいないため対応していない。 また、食材を取り扱う際は、都度、アレルギーの確認を行っている。	今後、必要に応じて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修を行い対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約にに説明を行うと共に事業所内に掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録し、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な場合は、保護者と協力し記録する。	